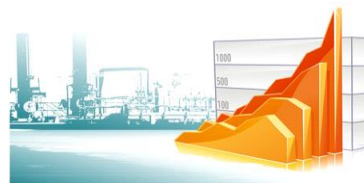


# ぎふ経済レポート



令和6年6月分  
岐阜県商工労働部

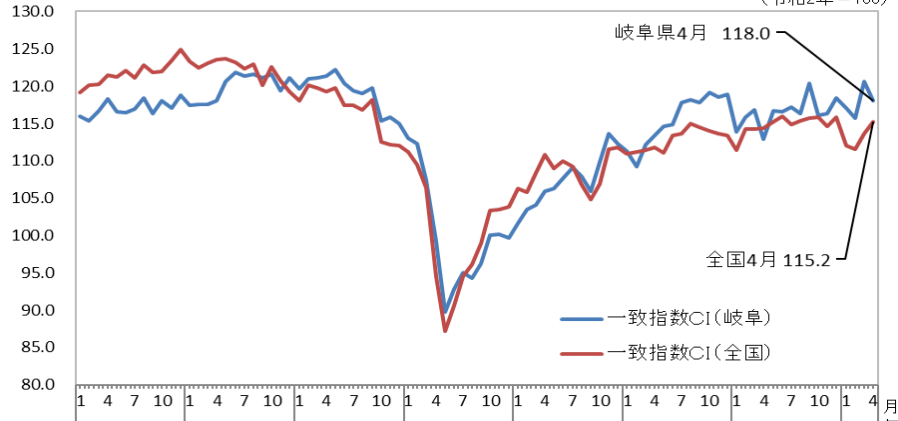
※企業等へのヒアリングは6月24日～26日を中心に実施し、7月26日時点で作成。

# 景気動向

- 4月の景気動向指数(一致指数)は、118.0で前月比▲3.1ポイントとなった。
- 5月の県内中小企業の景況感は、▲13.0で前月比▲1.0ポイントとなった。

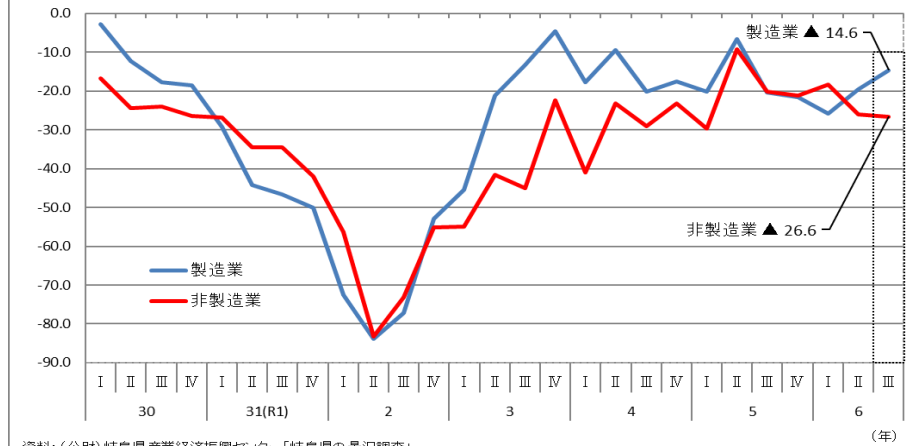
- 7-9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比5.0ポイント上昇、非製造業で同▲0.5ポイントとなった。売上高DI見通しは、製造業で前期比2.5ポイント上昇、非製造業で同▲2.9ポイントとなった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



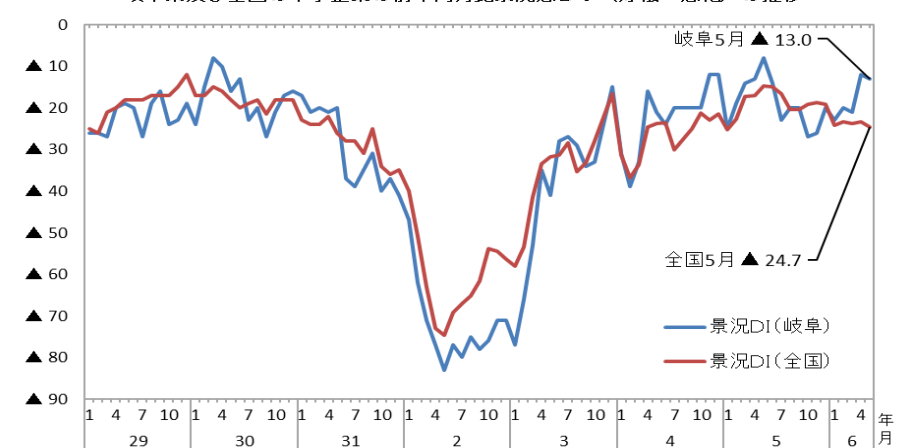
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



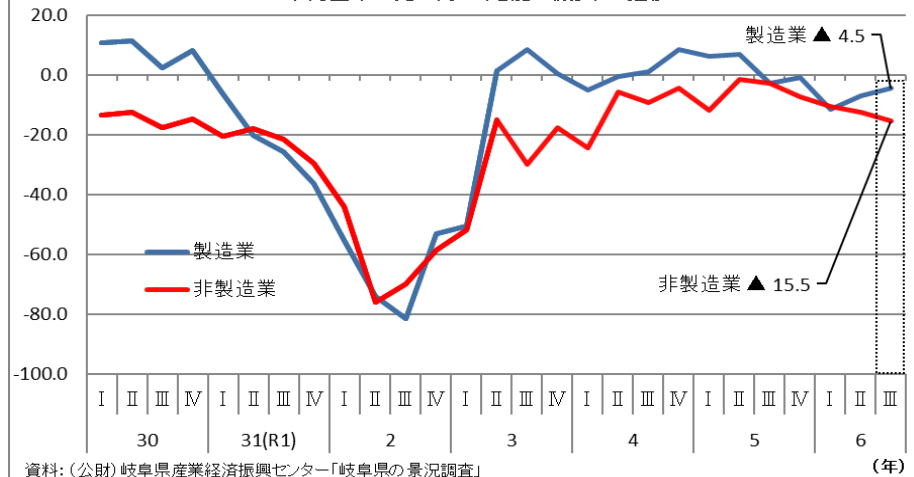
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



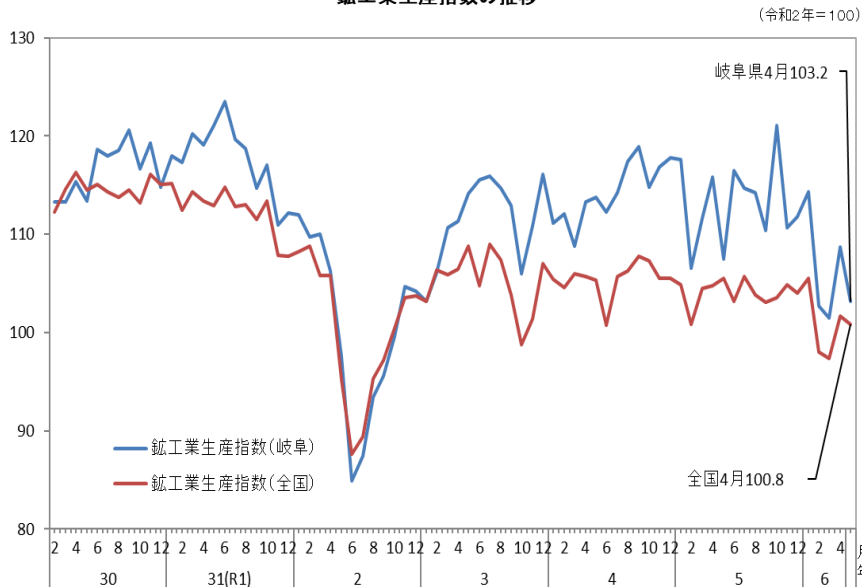
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

# 製造業

- 4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.2で前月比▲5.1%となった。
- 産業別の前月比では、金属製品、はん用、非鉄金属で上昇した一方で化学工業、プラスチック製品工業、電気機械、窯業・土石、鉄鋼業、輸送機械で低下した。

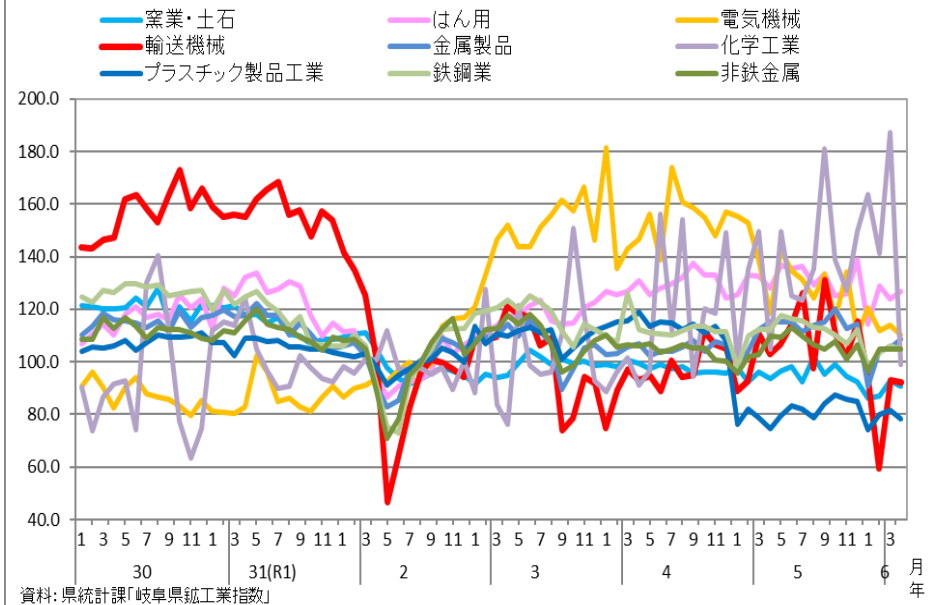
- 4月の主な産業の指数は、金属製品で前月比3.1%、はん用で同2.4%、非鉄金属で同0.2%上昇した一方で、化学工業で同▲47.1%、プラスチック製品工業で同▲3.8%、電気機械で同▲3.3%、窯業・土石で同▲2.3%、鉄鋼業で同▲1.2%、輸送機械で同▲0.9%となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



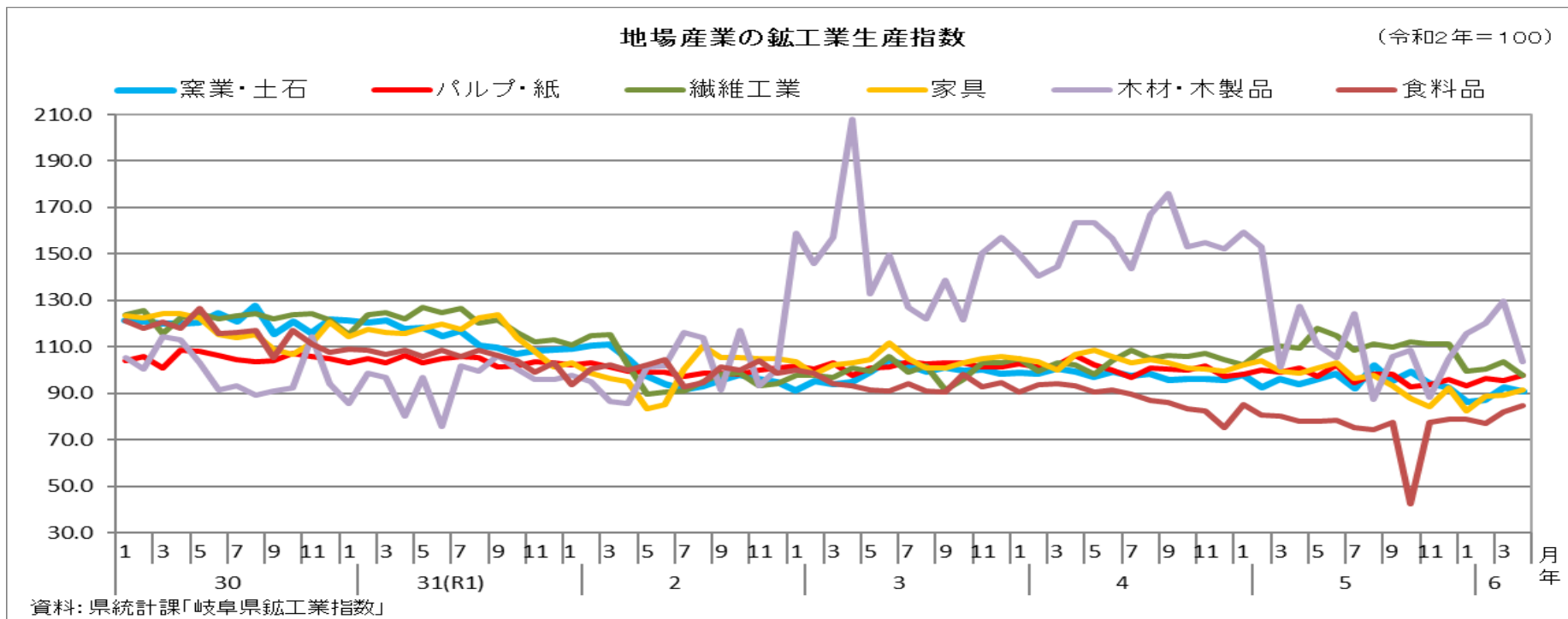
## 現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 国内需要はほぼ戻り、半導体関係の生産調整は回復に向かっている。2024年末には回復を見込む客先が多い。(輸送機械器具)
- ◆ 利益率が高い部品の生産が再開されたことにより、売上は減少しているが、利益は上昇した。(輸送機械器具)
- ◆ 大手自動車メーカーの認証不正が再び発覚し、生産調整が避けられず、今後の受注に影響が出る見通し。(生産用機械器具)

## 製造業-2

○4月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、食料品で前月比3.2%、家具で同2.3%、パルプ・紙で同2.3%上昇した一方、木材・木製品で▲20.1%、繊維工業で▲5.7%、窯業・土石で同▲2.3%となった。



### 現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ ファッション素材全般が物価高で、買い控えの影響があると思われる。また、繊維業界は右肩下がりの縮小傾向が続いている点を懸念している。(繊維・アパレル)
- ◆ 国内は全体的に低迷しているが、中には量販店から受注に対応すべく設備を増設しているメーカーや、インハウンドの影響で受注が増加しているメーカーもある。(窯業・土石)
- ◆ 廃業する会社が増えてきており、業界全体としての規模が小さくなったり、業界で取り扱う品数が減っていく懸念がある。(紙)

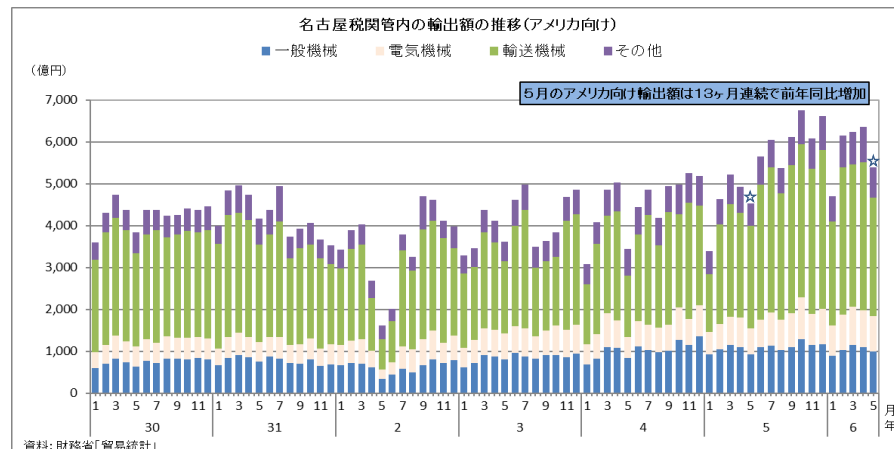
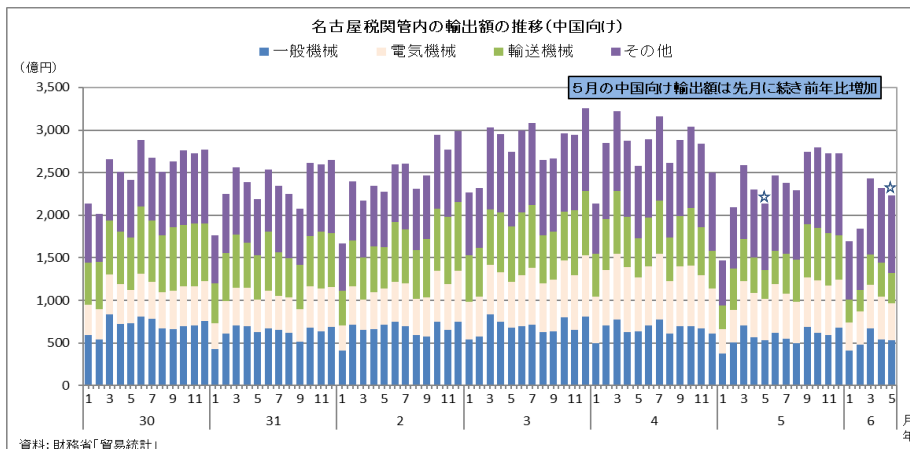
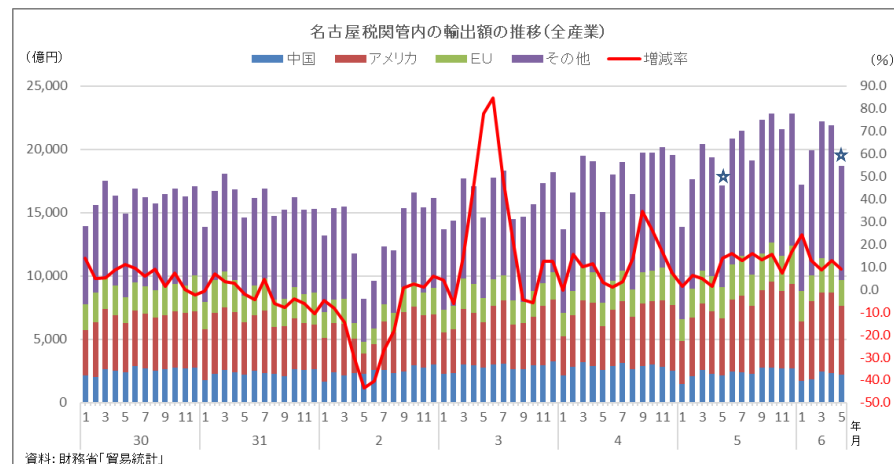
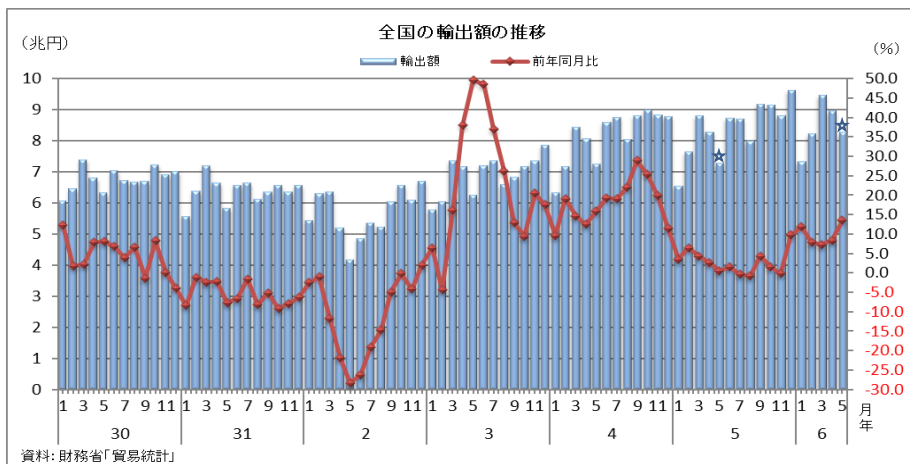
# 輸 出(名古屋税関管内)

○5月の輸出額(全国)は、8兆2,768億円で前年同月比13.5%増加となった。

○5月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆8,715億円で前年同月比9.1%増加し、28ヶ月連続で前年同月を上回った。

○中国向けは、全体で前年同月比4.4%増加となった。その内、輸送機械で同5.9%、一般機械で同1.1%増加した一方で、電気機械で同▲11.6%となった。

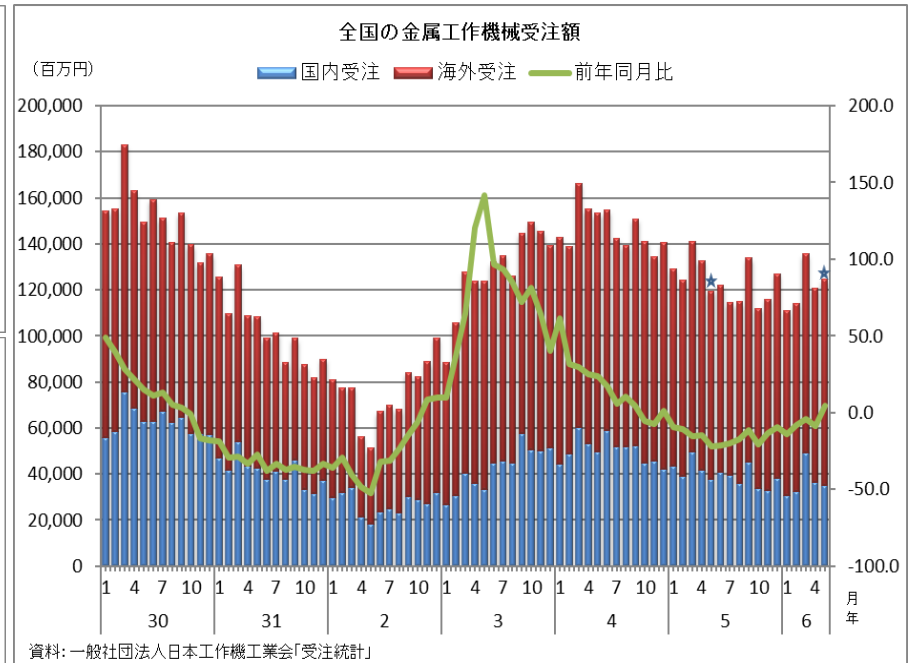
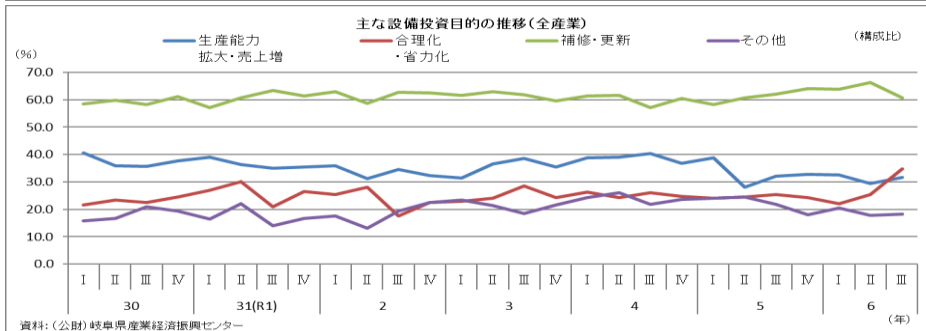
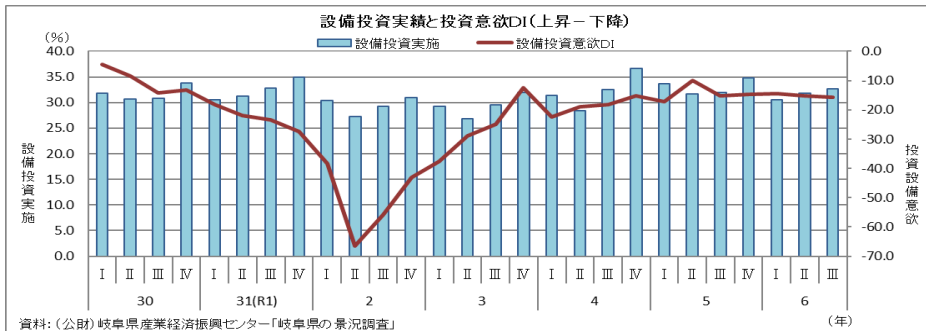
アメリカ向けは、全体で前年同月比19.4%増加となった。その内、電気機械で同39.7%、輸送機械で同15.4%、一般機械で同6.6%増加となった。



# 設備投資

○7-9月期の設備投資実施見通しは前期比0.9ポイント上昇、設備投資意欲DI実績は同▲0.6ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では、「合理化・省力化」で前期比9.3ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同2.1ポイント上昇、「補修・更新」で同▲5.6ポイントとなった。

○5月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比4.2%上昇と17ヶ月振りに前年を上回った。内訳は国内受注は同▲7.9%と21ヶ月連続で前年を下回り、海外受注は同9.8%と17ヶ月振りに前年を上回った。



## 現場の動き

- ◆ 少子高齢化を見据え、自動化・省力化を前提とした生産設備の更新を実施。今後は、業務効率改善、グローバル対応、業務の情報武装化を目的にIT投資も複数年度に渡り継続投資を行う予定。(生産用機械器具)
- ◆ 環境対応のための新設備導入を予定している。(プラスチック製品)
- ◆ 設備が老朽化しているものの、更新できずに修理でしのいでいる業者も多い。(窯業・土石)
- ◆ インバウンドがかなり好調なことで、宿泊業において空調や照明等、設備の改修が出始めている。(金融機関)



## 原油・原材料高騰に伴う経済変動の影響について

- ◆ 下請け各社に対して、労務費を製品価格に上乗せして支払うことにしている。(輸送機械器具)
- ◆ 原料の値上がり分は価格転嫁できているが、経費面は満足にできていない。(繊維・アパレル)
- ◆ 2024年問題・人件費高騰等を鑑み、今後も経費の増加は止むを得ないため、取引先との交渉や、効率化を促進し、利益確保に努める。(刃物)
- ◆ 取引先によっては値上げの通知から実際に値上げするまでの期間が短く、価格転嫁が追い付かないケースもある。(紙)

## 海外情勢に伴う経済変動の影響について

- ◆ 欧米は比較的堅調。中国からの受注は少し増加しているが、回復基調に至るかは、まだ見通せない。(生産用機械器具)
- ◆ 中国の景気減速については、もとに戻っているが、中国資本他社との競争が激しく、利益に影響が出ている。(非鉄金属)

## 「物流2024問題」の影響について

- ◆ 配送料金が上がっているところもあり、依頼先の見直しも考えていく必要がある。(紙)
- ◆ 配送時間が決まり、臨機応変な対応はしてもらえなくなった。(商業施設)
- ◆ 運転手の拘束時間把握のため、分単位での労働時間管理をしている。(運輸)
- ◆ 出荷が遅い荷主や遠方の荷主は出荷時間を早めていただくように強くお願いをしており、取引中止も視野に入れて交渉に臨んでいる。(運輸)

## その他のヒアリング

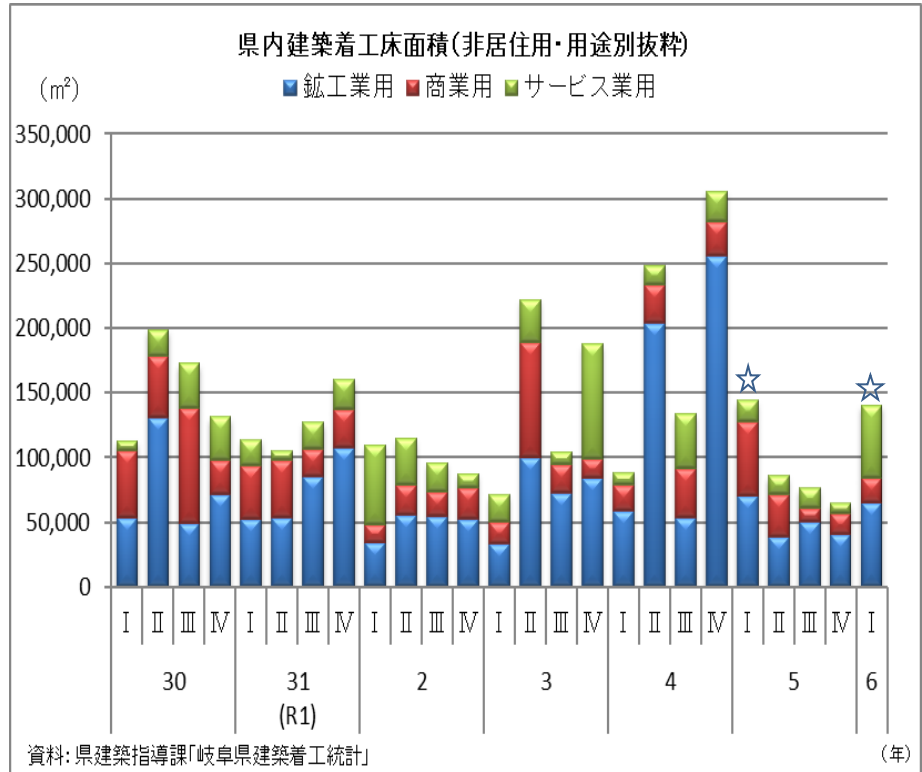
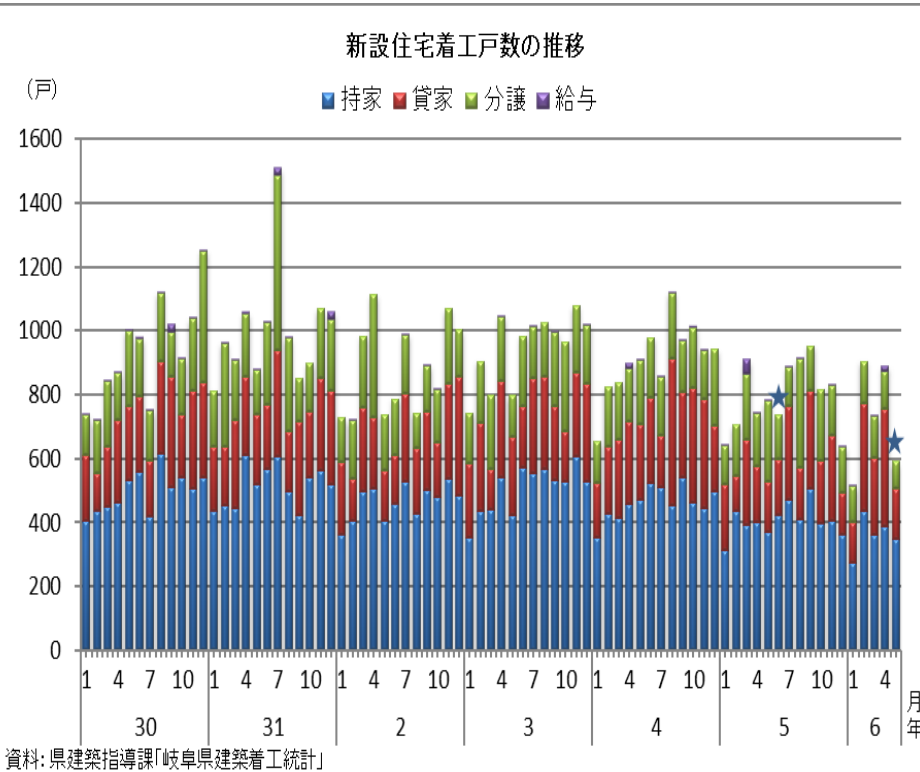
- ◆ 大手自動車メーカーの認証不正問題により、自動車関連業種において設備投資の見送りなどがみられ、受注環境は厳しさを増している。(生産用機械器具)

# 住宅・建築投資

○5月の住宅着工戸数は、前年同月比▲33.6%となった。

○貸家で前年同月比0.6%の上昇、分譲で同▲66.3%、持家で同▲6.5%となった。

○1-3月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比235.5%上昇した一方、商業用で同▲65.2%、鉱工業用で同▲7.8%となり、全体で同▲2.7%となった。



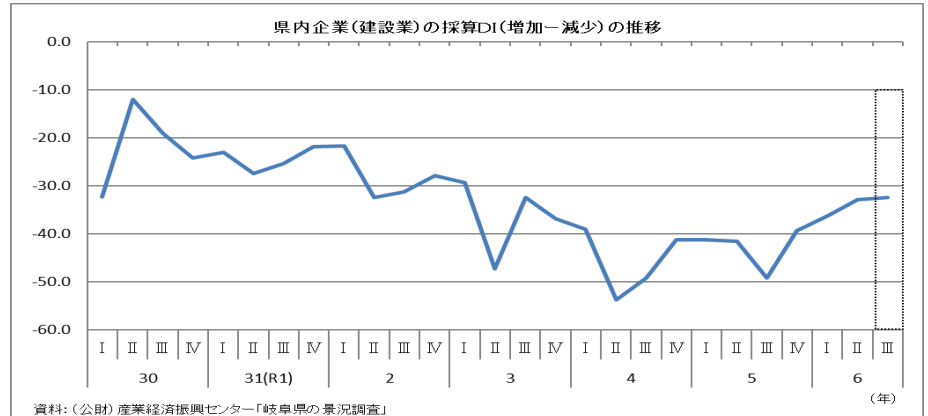
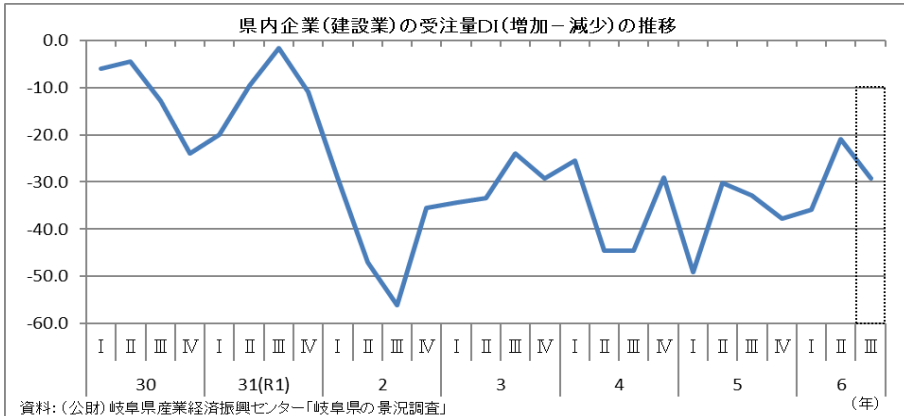
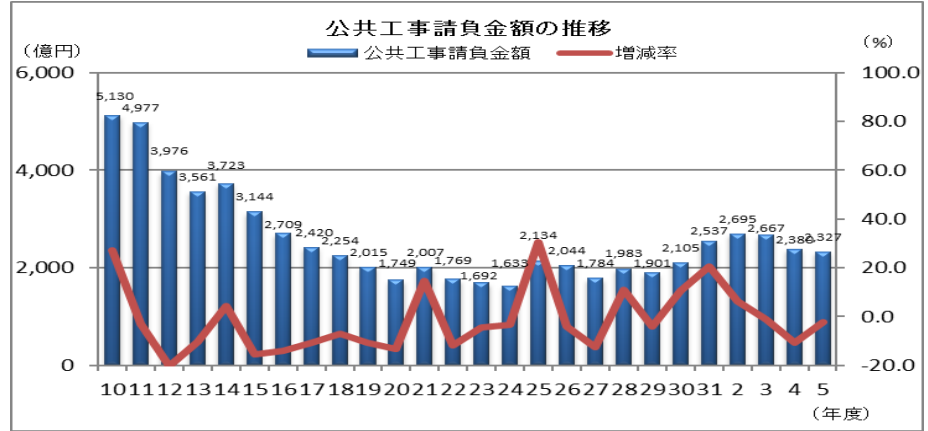
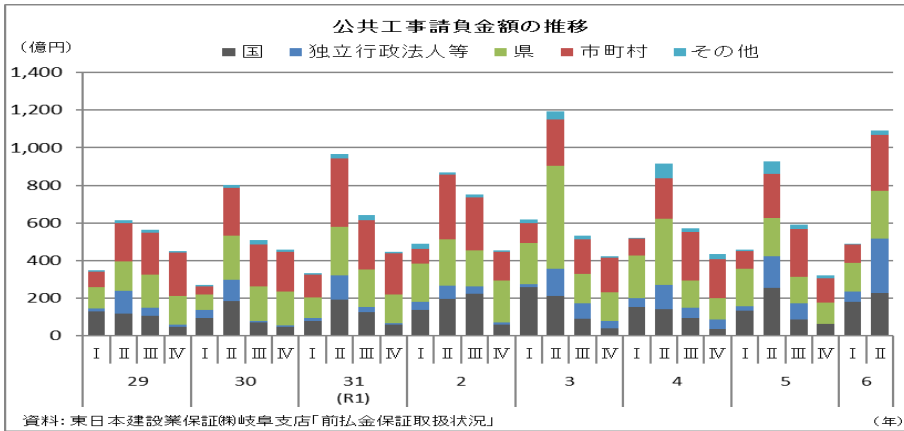
## 現場の動き

- ◆ 集客は若干ではあるが回復傾向にあるものの、コロナ禍前と比較すると年間契約数は15%程度落ち込む見込みである。(住宅)
- ◆ 住宅着工戸数が減少している。非住宅の案件が少しずつ出てきているが、厳しい状況は続いている。(卸売)
- ◆ 木材価格は安定しているが、高止まりの状況。今後は電気・原油等の値上がりにより、製材業者や流通業者が値上げせざるを得ない状況であるため、間接的に値上がりになると見込まれる。(住宅)



# 建設工事

- 4-6月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比▲10.2%、独立行政法人等で同71.7%、県で同25.7%増加となり、全体で同17.9%増加となった。
- 県内建設業の7-9月期の受注量DI見通しは前期比▲8.3ポイントとなり、同採算DI見通しは同0.5ポイント上昇となった。



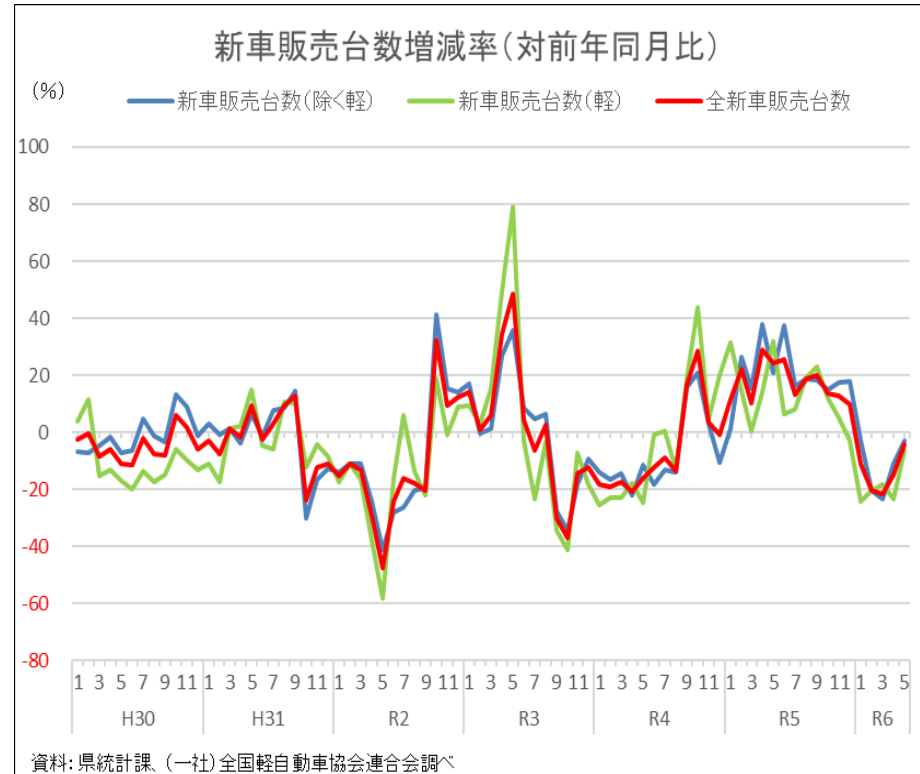
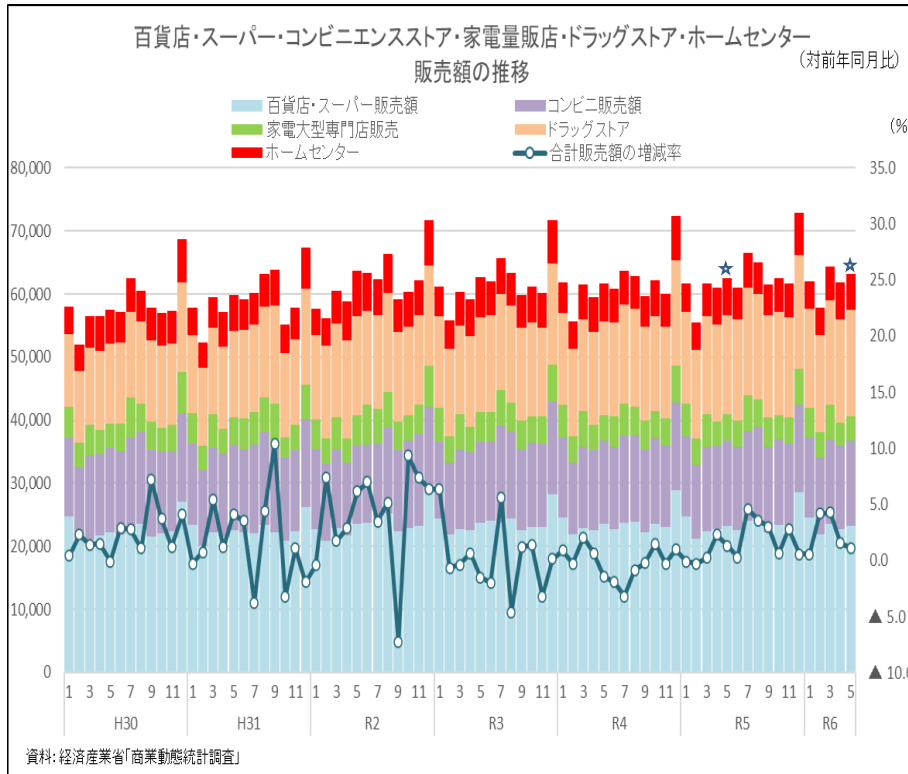
## 現場の動き

- ◆ 為替変動や物価高騰の影響はあまり受けていないが、工事量が少なかったため、それに伴い利益も減っている。
  - ◆ 売上、利益等は前年並みを確保できる見込みだが、国交省、岐阜県の発注見通しによると仕事の絶対量が減少傾向にあり、土木部門では、前年を割り込む見通し。
- (以上、建設)

# 個人消費(流通・小売)

○5月はドラッグストアで前年同月比7.1%、コンビニで同0.4%上昇した一方で、家電大型専門店では同▲7.7%、ホームセンターで同▲1.8%、百貨店・スーパーで同▲0.3%となり、全体で同1.1%上昇となった。

○5月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲3.1%と5ヶ月連続で前年同月を下回った。軽自動車は同▲6.3%と6ヶ月連続で前年同月を下回った。合算では同▲4.2%と、前年同月を5ヶ月連続で下回った。



## 現場の動き

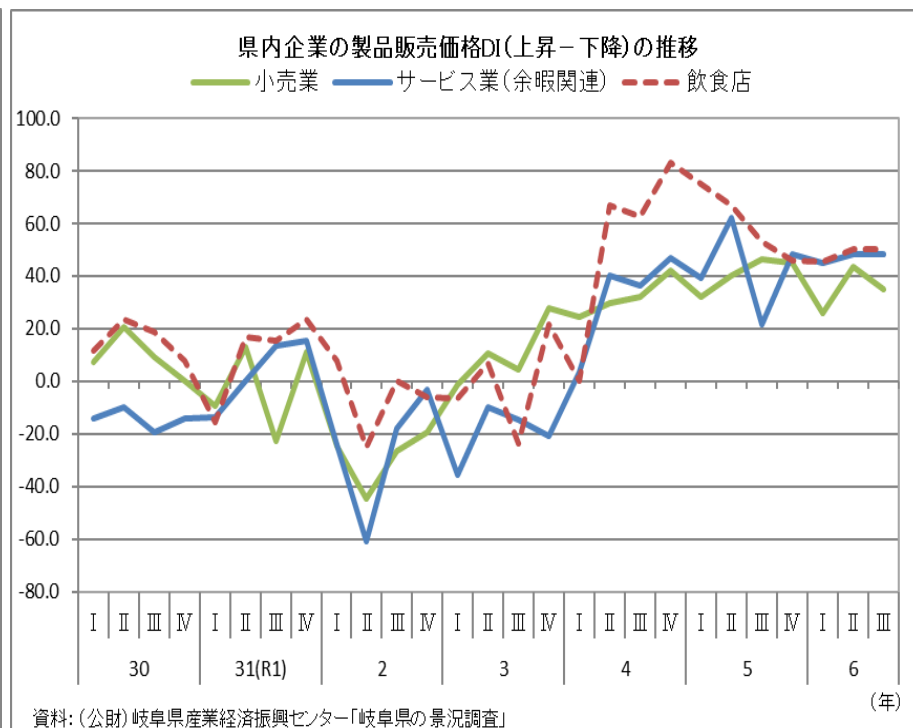
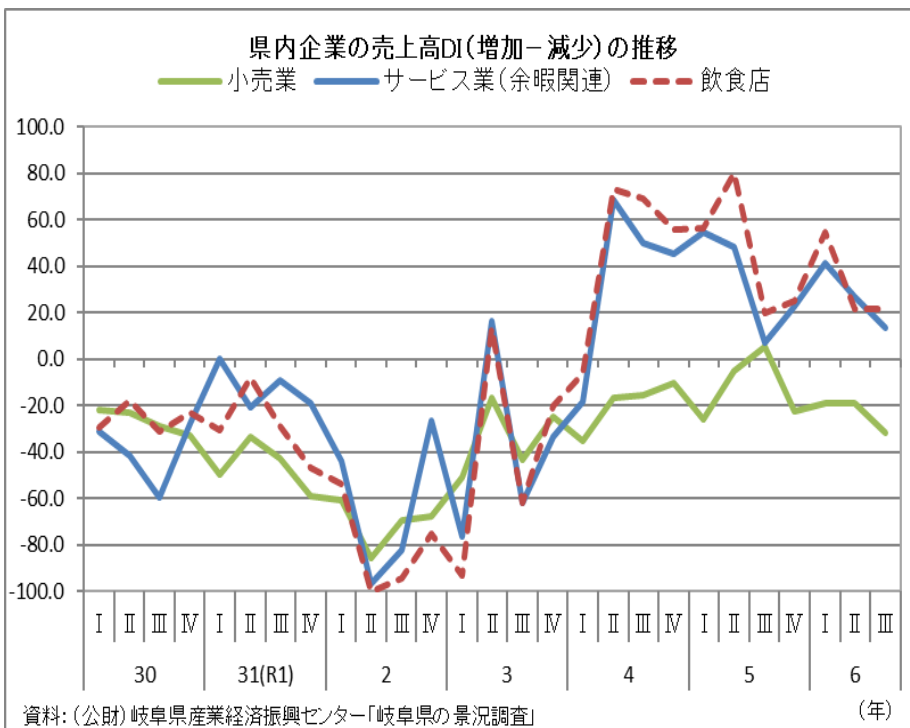
- ◆ 生鮮食品スーパーは、特に青果部門で堅調に推移し、売上はコロナ禍前の令和元年6月比で約85%増加。
- ◆ メーカー希望により、各商品を毎月値上げしている。
- ◆ 飲食店はカフェ業態が堅調。居酒屋店舗はディナータイムの客数がコロナ禍前と比較し戻っていない。

(以上、県内商業施設)

## 個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比同率、サービス業(余暇関連)で同▲13.4ポイント、小売業で同▲12.7ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、飲食店、サービス業で前期比同率、小売業で同▲8.5ポイントとなった。



### 現場の動き

- ◆ 低価格帯のものから順次、転嫁している状況。高価格帯のものは状況を見ながら転嫁している。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 仕入れ値上げが相次いでいるうえに、ガソリン価格が依然高値で配送業務に悪影響を与えている。配達順路の効率化を図るものの、件数が減り効率が悪化している。(大垣市商店街)
- ◆ 観光関連では物販の収益は厳しい状況が続いている。(高山市商店街)
- ◆ 商品の値上げや原材料不足など不安材料があるので多めに在庫を抱えている。(高山市商店街)

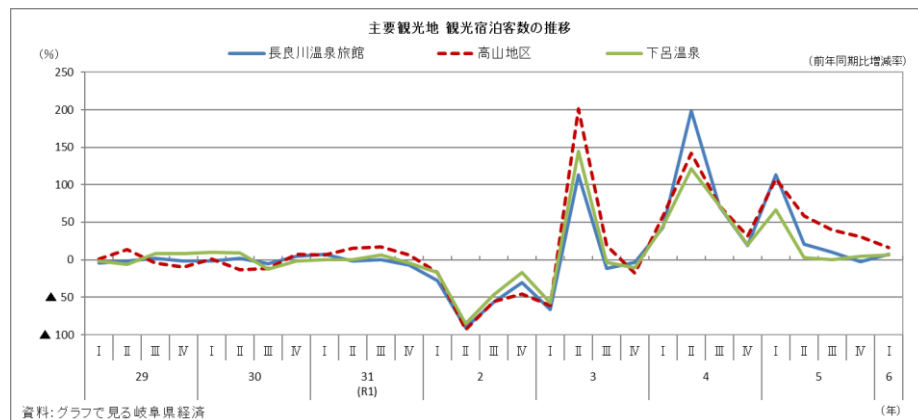
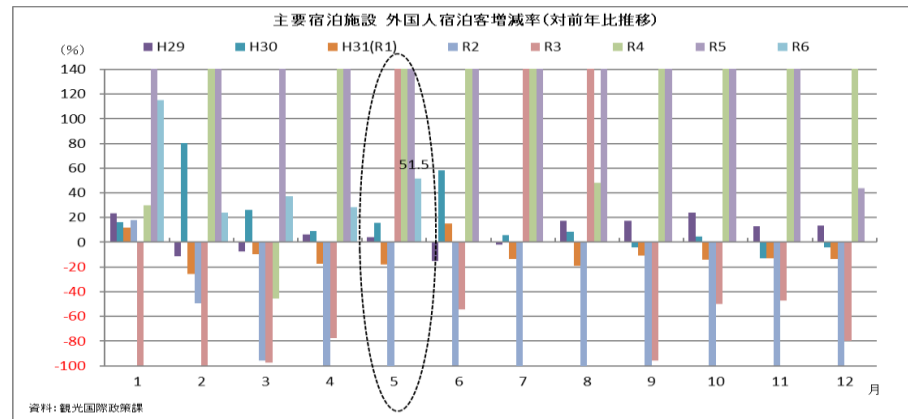
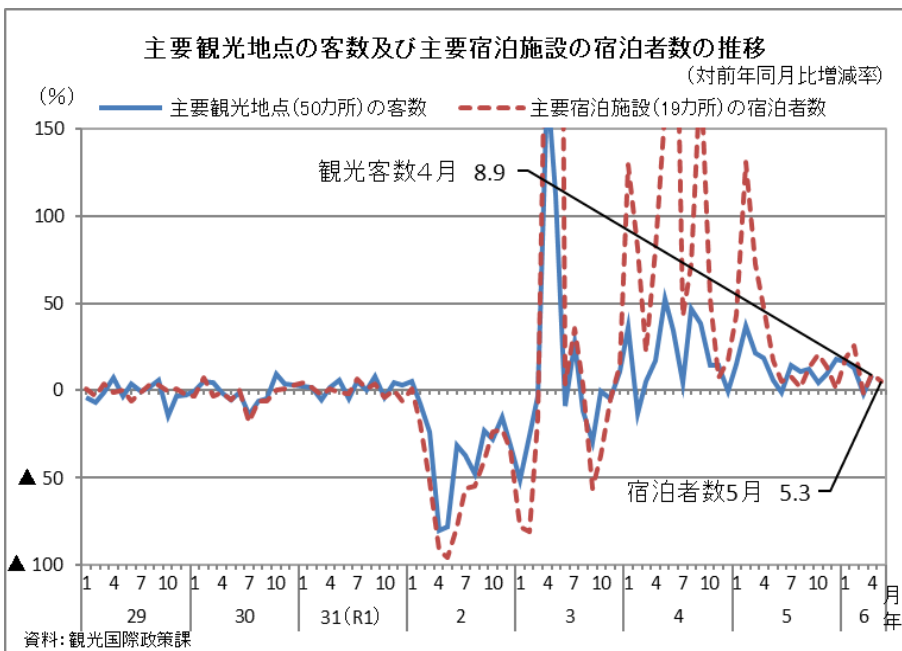
# 観光

○主要観光地における4月の観光客数は、前年同月比8.9%増加、コロナ前の令和元年同月比では、▲15.3%となっている。

(5月分は集計中)

○主要宿泊施設における5月の宿泊者数は、前年同月比5.3%増、令和元年同月比では、4.8%減となっている。

○5月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、23.8%増となっている。

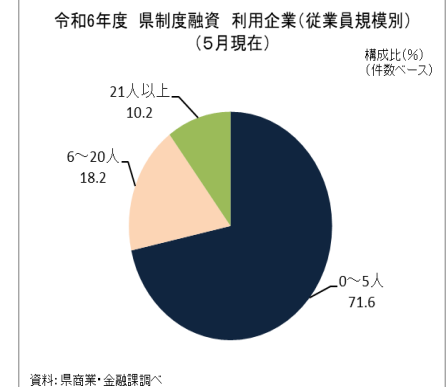
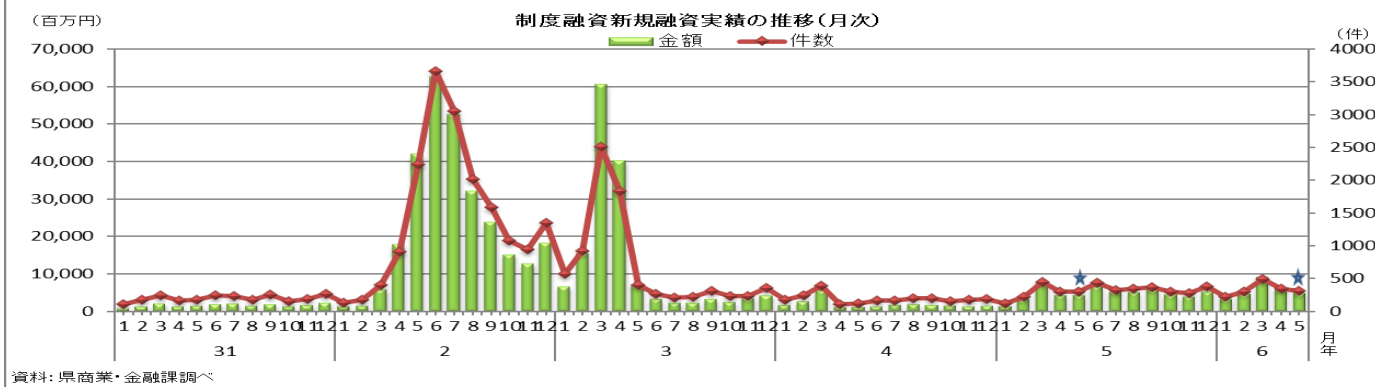
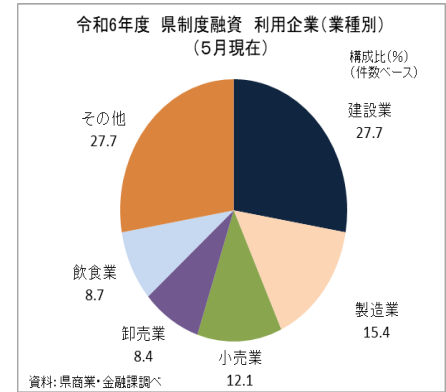
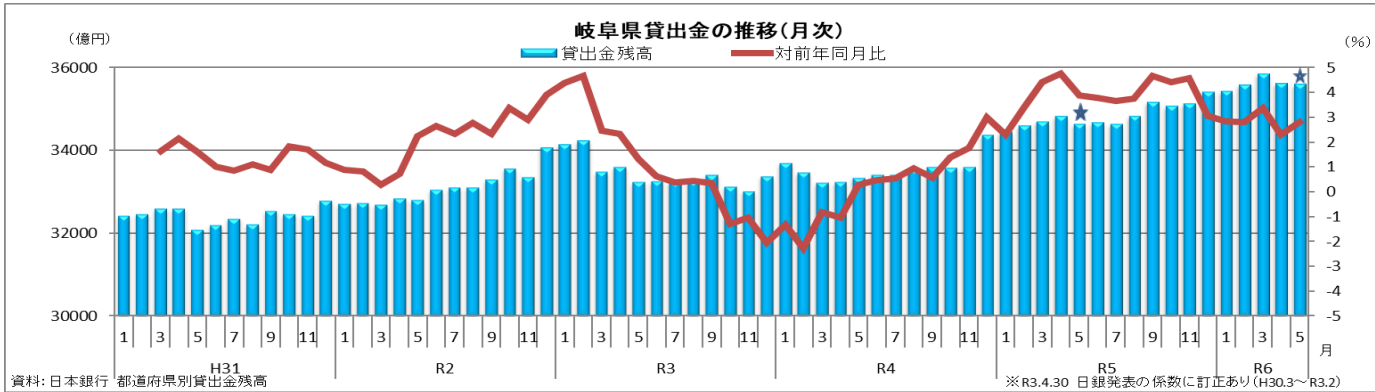


## 現場の動き

- ◆インバウンドの動きが概ね好調。(多治見市、高山市の宿泊施設)
- ◆国内需要が伸びていない。(高山市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化している。日本人の人材確保が困難。(高山市の宿泊施設)
- ◆外国人雇用が増加。(高山市の宿泊施設)

# 資金繰り

- 5月の岐阜県貸出金残高は、3兆5,615億円 で前年同月比2.8%増加し、25ヶ月連続で増加。
- 5月の制度融資実績は、金額が4,802百万円で前年同月比12.6%増加、件数は314件で同4.0%増加と、金額は16ヶ月連続で増加し、件数は15ヶ月連続で増加した。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の71.6%を占めている。

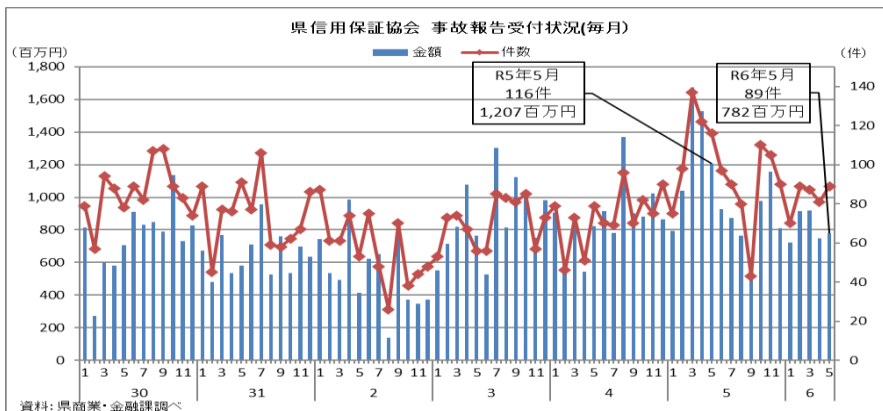
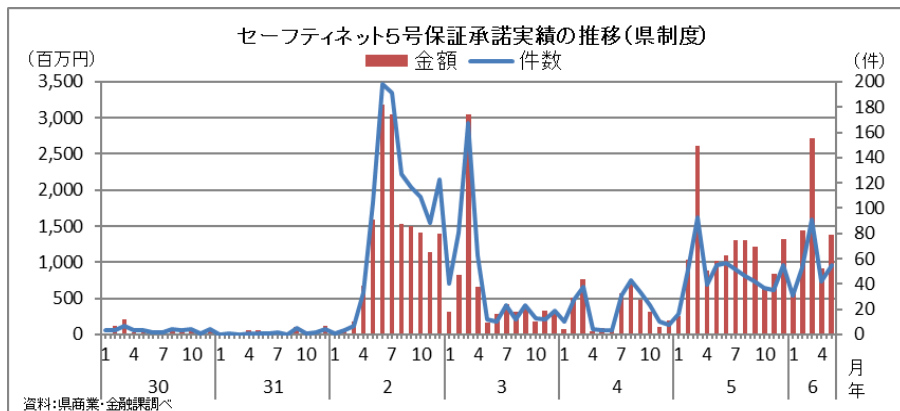
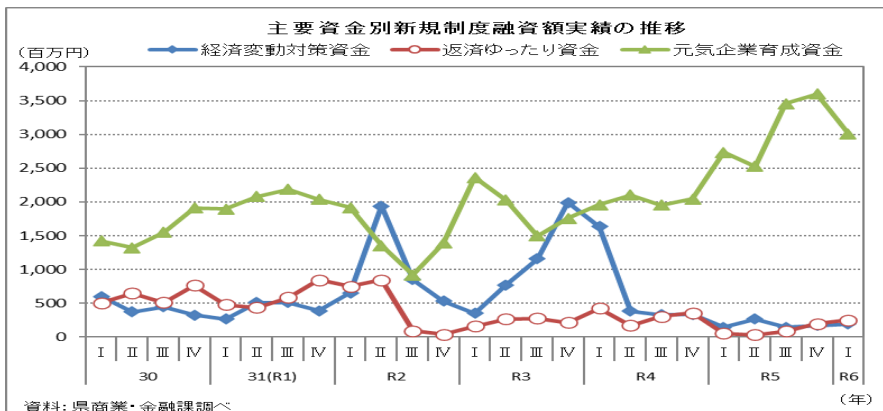
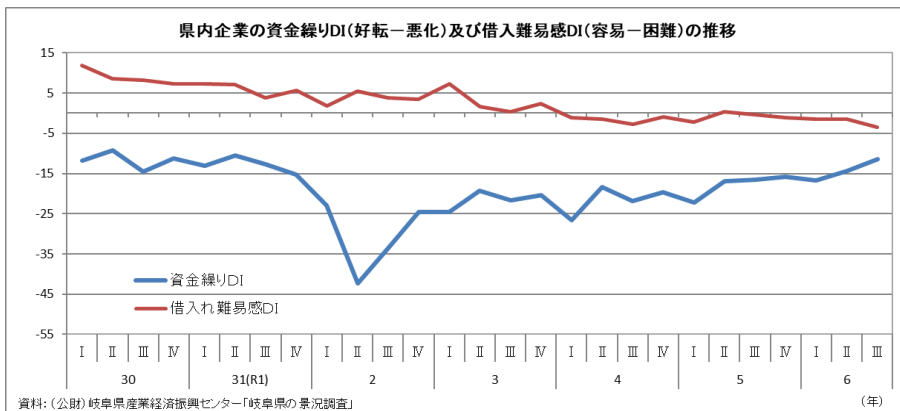


## 現場の動き

- ◆ 資金需要に関しては、特段大きな動きが見られていないものの、機械の老朽化に伴う更新や、生産増強等の用途による設備資金の利用が見られた。
  - ◆ 伴走支援型特別保証制度について、終了後どうなるかは若干不安視しているが、4~6月も駆け込みといわれるほどの需要はなかった。
- (以上、金融機関)

# 資金繰り-2

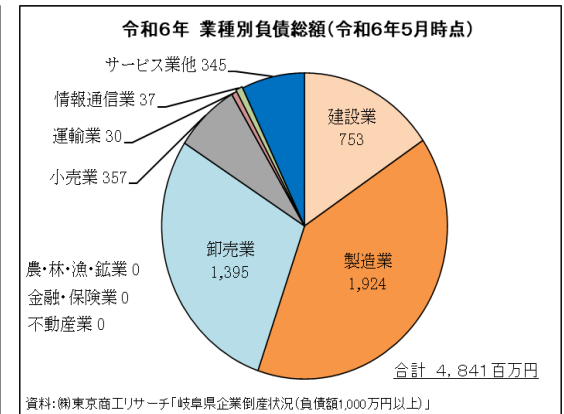
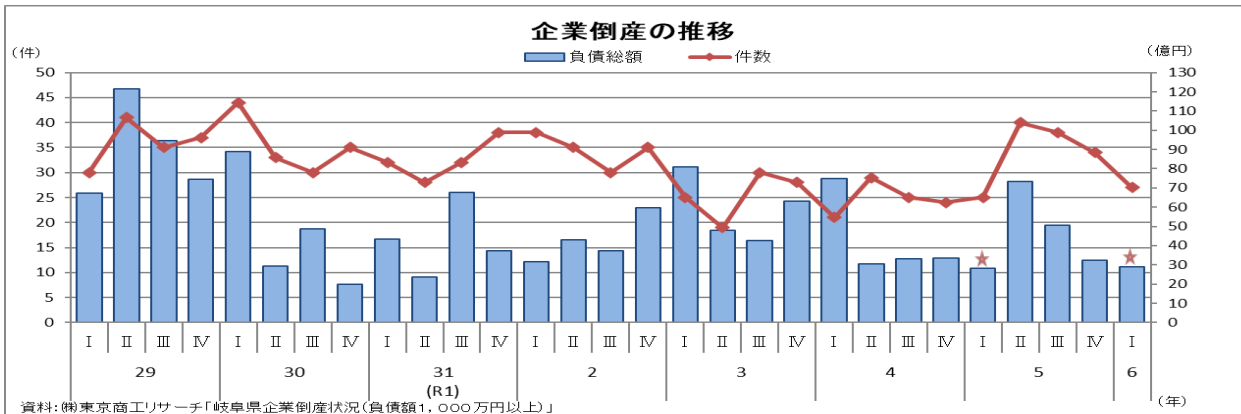
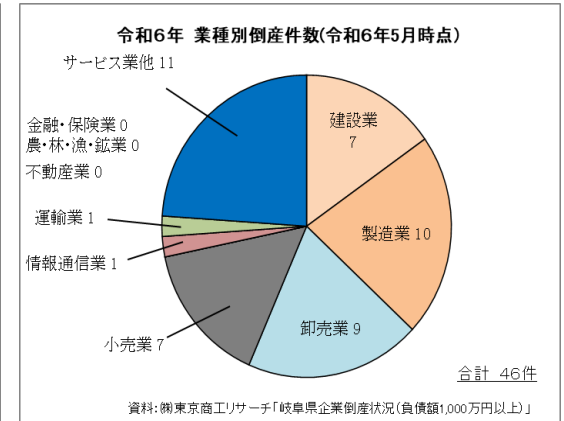
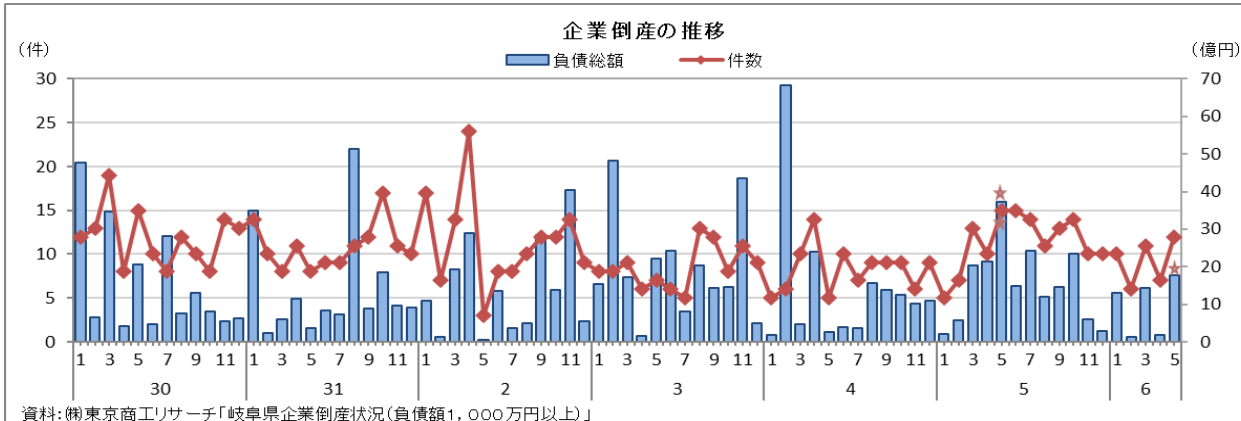
- 7-9月期の資金繰りDI見通しは▲11.5で、前期比2.9ポイント上昇となった。同借入難易感DI実績は▲3.4で、前期比▲2.0ポイントとなった。
- 1-3月期の主要資金別新規制度融資実績は、返済ゆったり資金で前年同期比363.0%増加と5期ぶりに増加、経済変動対策資金で同31.1%増加と8期ぶりに増加、元気企業育成資金で同10.1%増加と8期連続で増加した。
- 5月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が55件で前年同月比同数、金額は1,385百万円で同36.6%増加となった。
- 5月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は89件で前年同月比▲23.3%、金額は782百万円で同▲35.2%となった。





# 倒産

○5月単月の倒産件数は12件、負債総額は前月比1,586百万円増加の1,772百万円となった。  
 ○令和5年5月は負債総額1億円以上の倒産は10件発生したのに対して、令和6年5月は5件となった。負債総額は前年同月比▲2,021百万円となった。



## 専門機関の分析(東京商工リサーチ・6月13日時点)

- ◆ 東海地区経済を牽引する自動車関連産業においては、ダイハツ工業(株)の認証不正や(株)豊田自動織機の不正等による生産減が解消した矢先に、最大手であるトヨタ自動車(株)の認証不正による人気車種の生産出荷停止など先行き不透明感が高まっている。
- ◆ 「ゼロゼロ融資」は4月に返済開始の最後のピークを迎えたものの、返済が負担となり事業継続を断念するケースも生じている。今後の倒産動向においては業績回復が遅れた企業の息切れ倒産等で、増加基調を辿るものと見られる。

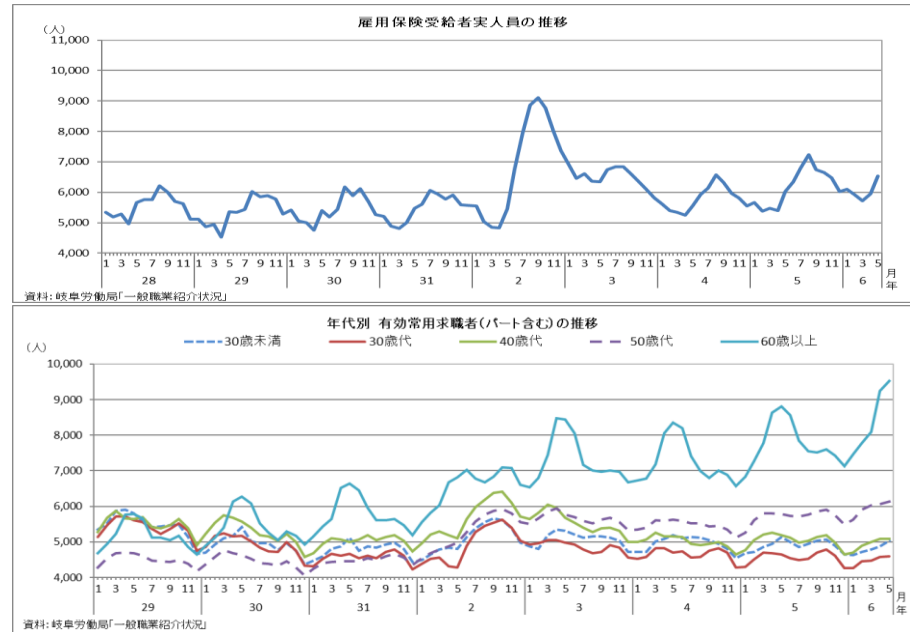
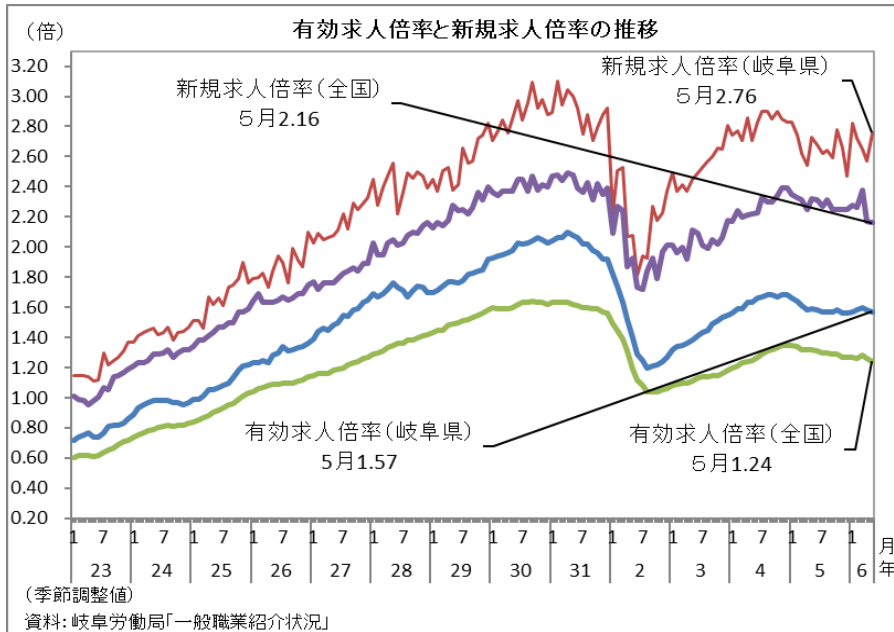
# 雇用

○5月の有効求人倍率は1.57倍と、前月比▲0.01ポイントとなった。

○5月の新規求人倍率は2.76倍と、前月比0.19ポイント上昇となった。

○5月の雇用保険受給者人員は、前月比9.9%増加となった。

○有効常用求職者は、50歳代以上で、前年同月比で上昇した。



## 現場の動き

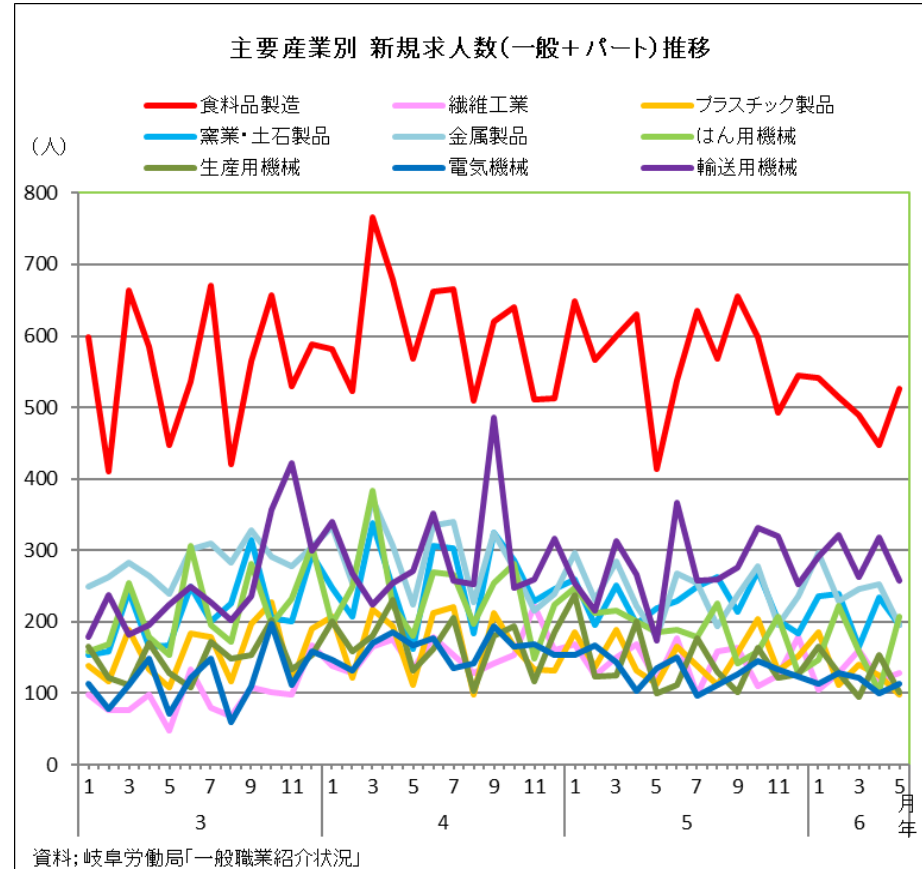
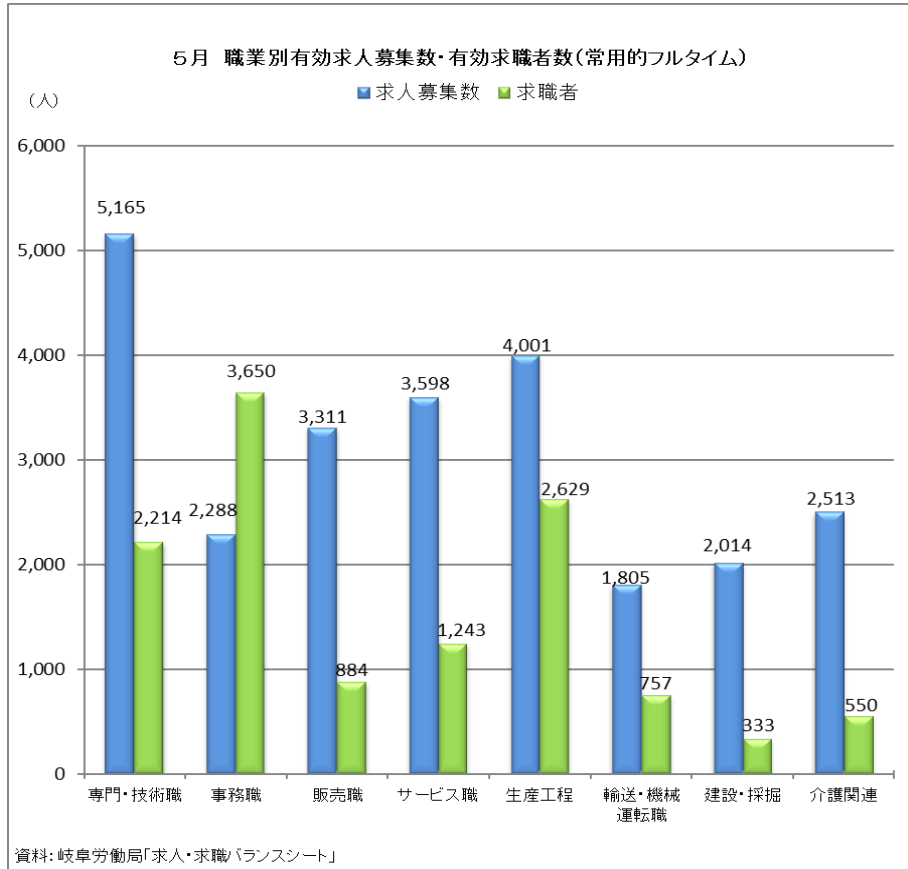
- ◆ 将来の自動化、省人化に向け、システムを構築する人材が欲しい。(輸送用機械)
- ◆ 4月に通常昇給と合わせて、一般職は約5.2%、管理職は約3.8%の賃上げを実施した。(輸送用機械)
- ◆ 工業高校の就職指導教員を回ったが、就職希望者1人に対して20社程度の募集があった。(生産用機械器具)
- ◆ リスキング促進のため、社員の資格取得に対する費用負担を実施している。(住宅)
- ◆ 最低限の人材確保はできているが人手不足の解消には至っていない。時間外労働制限規制が適用され人材確保は大きな課題であり、通年での人材募集を実施している。(建設)
- ◆ 子育て世代を手厚く補助するという目的で年齢手当を支給。また、職員一律で物価手当を支給した。賃上げというよりは、手当という形で対応している。(建設)

# 雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で6.05倍、介護関連で4.57倍、販売職で3.75倍、サービス職で2.89倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

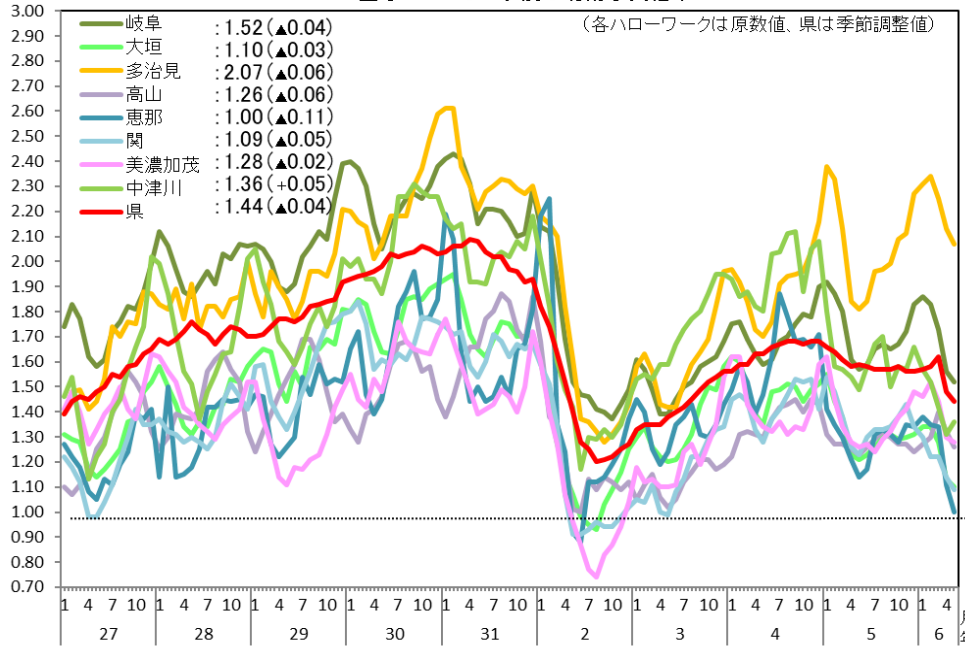
○一方で、事務職の有効求人倍率は0.63倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○5月の主要産業別の新規求人数は、輸送用機械で前年同月比48.3%、食料品製造で同27.4%、はん用機械で同11.3%、繊維工業で同10.3%、金属製品で9.5%、生産用機械で1.0%上昇した一方で、電気機械で同▲16.3%、プラスチック製品で同▲14.0%、窯業・土石で同▲10.5%となった。



# 雇用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む  
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○5月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、全地域で前月比で減少となった。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <窓口の様子> ※前月比

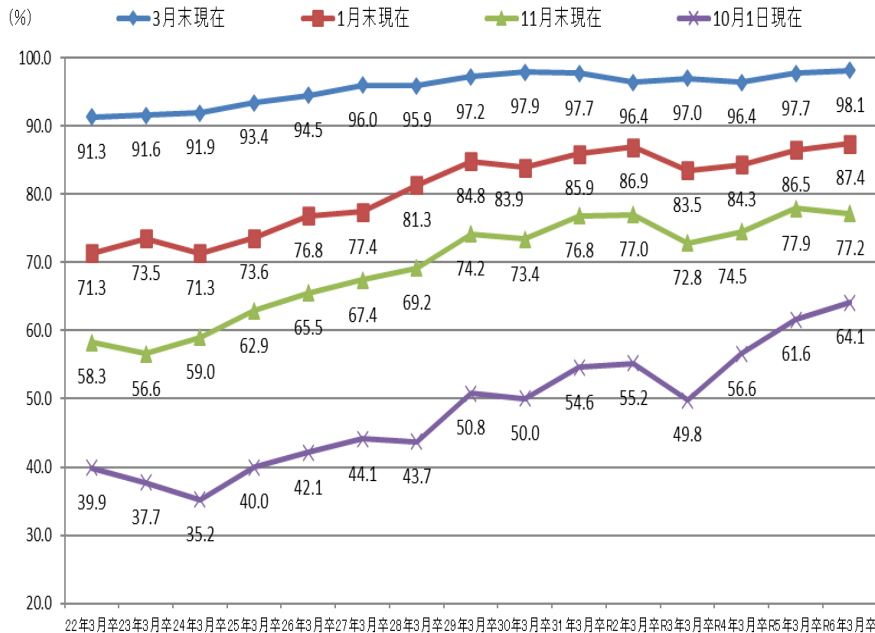
- ◆恵那で混雑している、高山、中津川で先月と同じくらい、岐阜、大垣、関でやや空いている、多治見、美濃加茂で空いている状況。

# 雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和6年3月末現在の大学・短大卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は、98.1%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇となった。

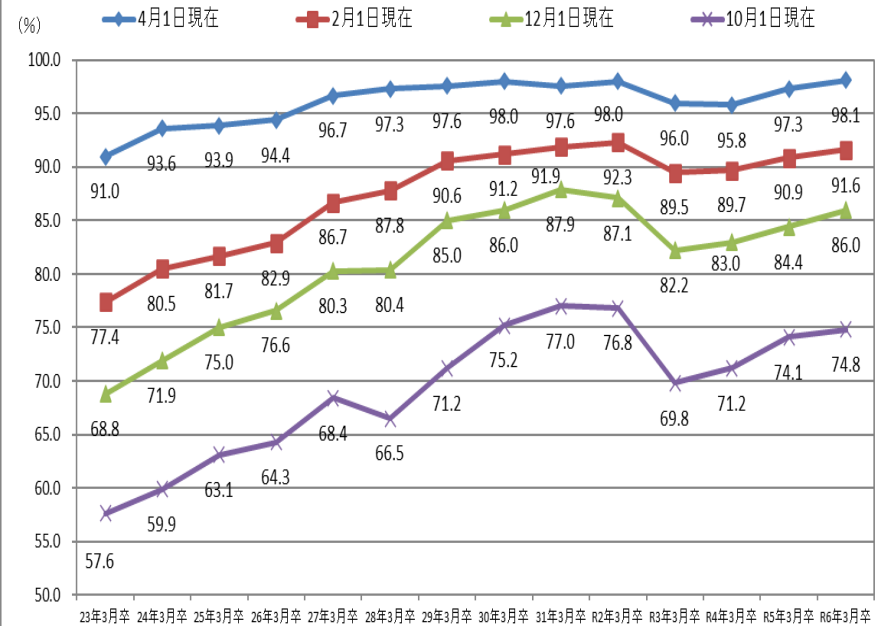
○全国の令和6年4月1日現在の大学卒業者(令和6年3月卒業)内定率は98.1%であり、前年同時点と比べ1.5ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料:岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料:厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

## 現場の動き(2025卒、2026卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

- ◆ 25年卒からの相談は減ってきており、内定状況は昨年より順調と思われる。公務員志望から民間企業への変更の相談が少し出てきている。
- ◆ 26年卒は相談が少し増えてきている。インターンシップ参加や書類作成についての相談がほとんどである。

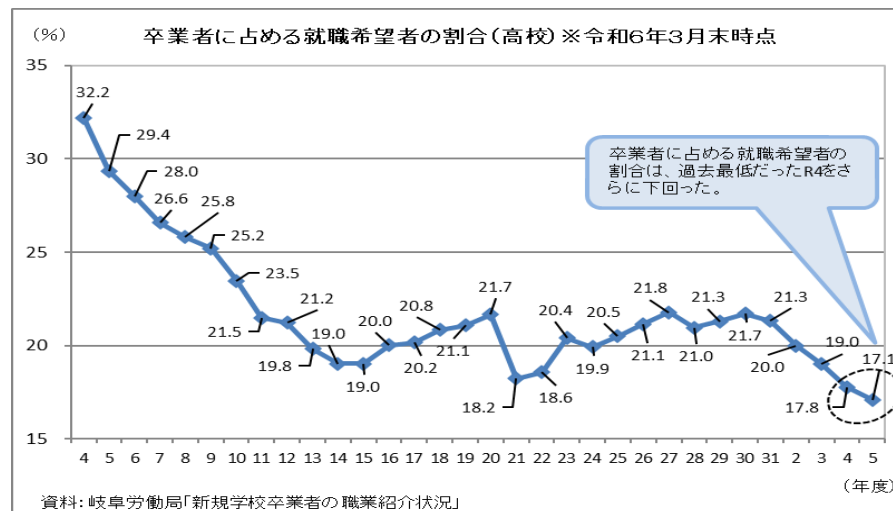
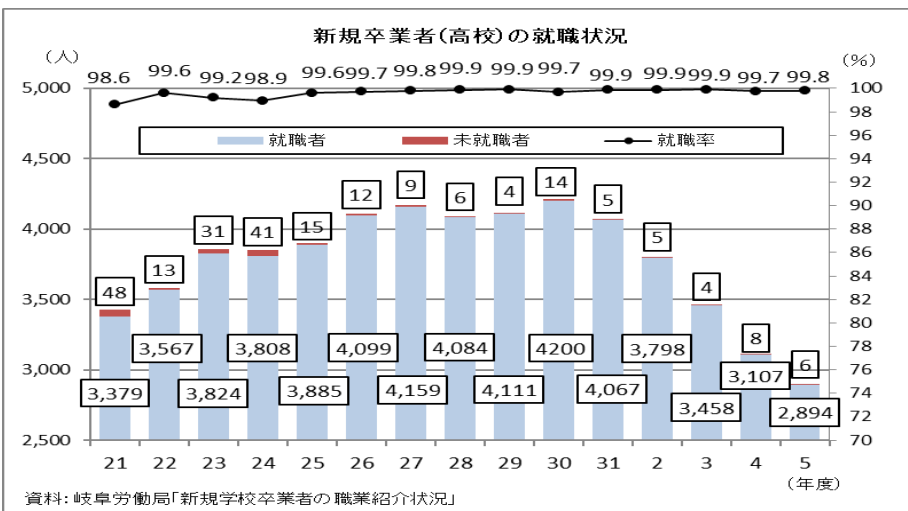
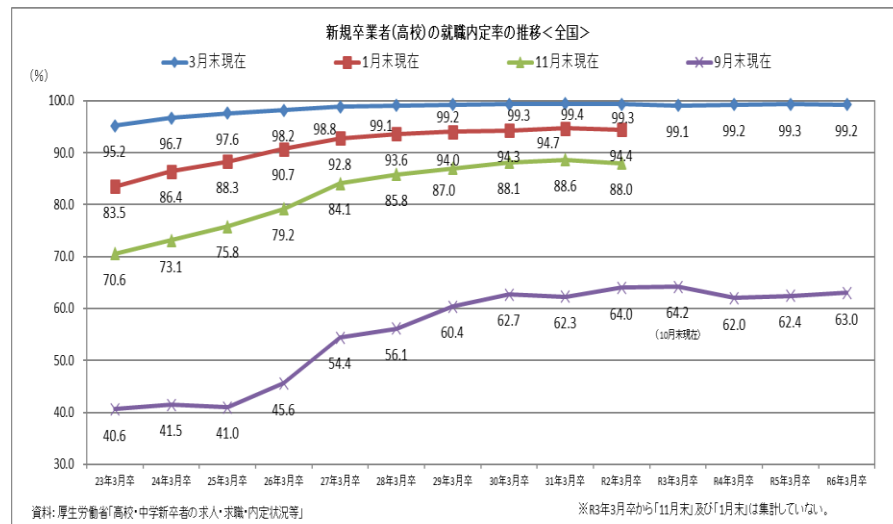
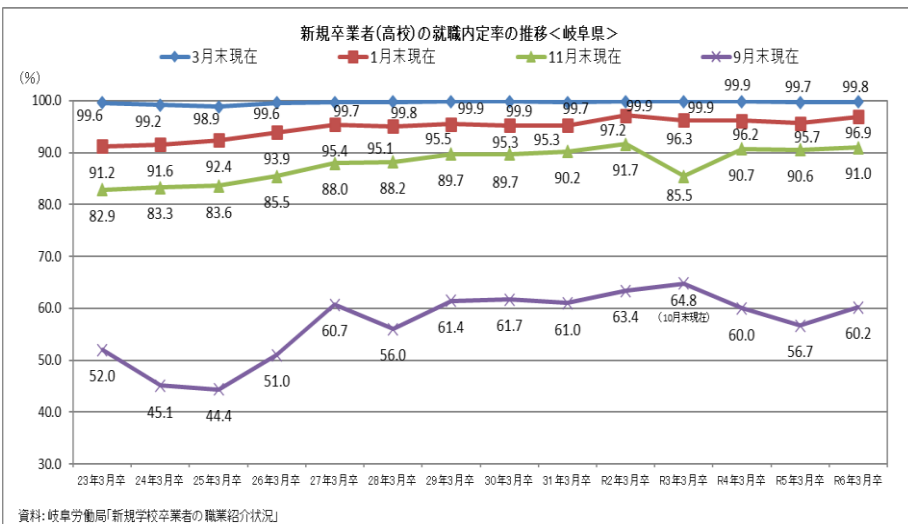
(以上、岐阜・愛知県内大学)



# 雇用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和6年3月末現在の高校卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は99.8%であり、前年同時点と比べ0.1ポイント上昇した。

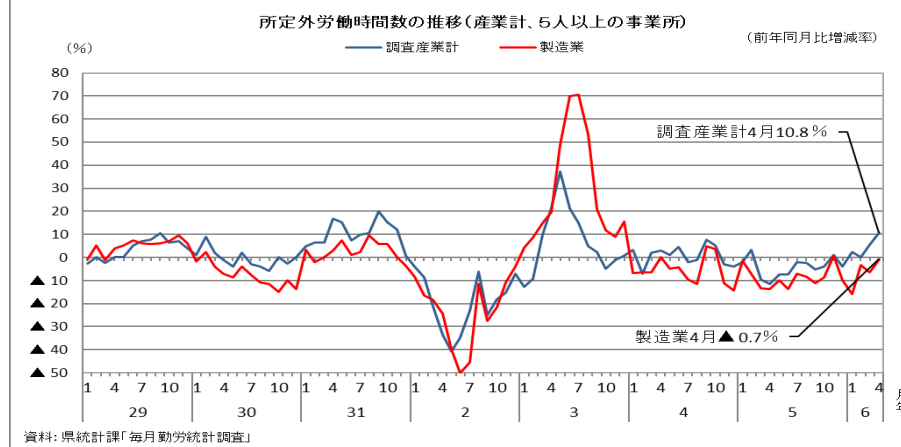
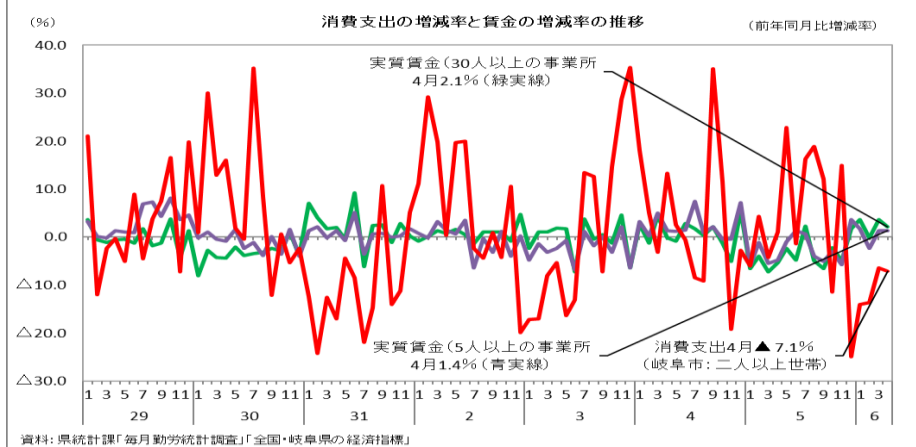
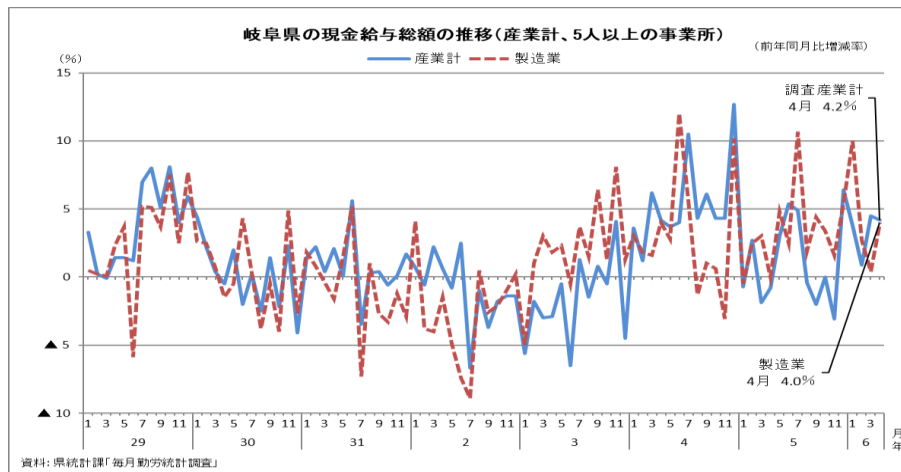
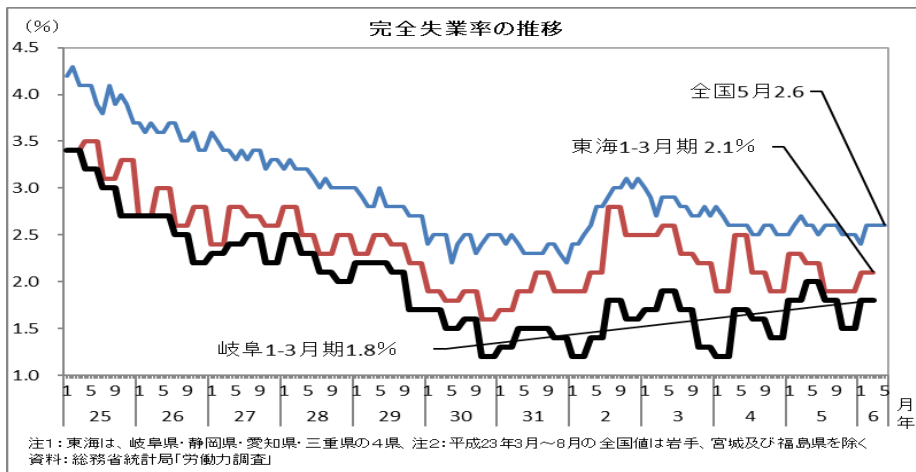
○全国の令和6年3月末時点の高校卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は99.2%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイントとなった。





# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の5月の完全失業率は2.6%で前月比同水準となった。岐阜県の1-3月期の平均は1.8%で前期比0.3ポイント上昇となった。
- 4月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比4.2%、製造業で同4.0%上昇となった。
- 4月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比2.1%、5人以上で同1.4%上昇となった。4月の消費支出については同▲7.1%となった。
- 4月の所定外労働時間数は前年同月比10.8%上昇となった。



# ＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、4月の鉱工業生産指数は▲5.1%となった。ヒアリングでは、国内需要はほぼ戻り、半導体関係の生産調整は回復に向かっているとの声や、利益率が高い部品の生産が再開されたことにより、利益は上昇したとの声が聞かれた。一方で、大手自動車メーカーの認証不正が再び発覚し、生産調整が避けられず、今後の受注に影響が出る見通しとの声が聞かれた。
- 地場産業は、4月の鉱工業生産指数は、食料品、家具、パルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、量販店からの受注に対応すべく設備を増設しているメーカーやインバウンドの影響で受注が増加しているメーカーがあるとの声が聞かれた一方で、廃業する会社が増えてきており、業界全体としての規模が小さくなったり、業界で取り扱う品数が減っていく懸念があるとの声が聞かれた。
- 設備投資は、5月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比4.2%上昇となった。ヒアリングでは、少子高齢化を見据え、自動化・省力化を前提とした生産設備の更新を実施したとの声が聞かれた、一方で、設備が老朽化しているものの、更新できずに修理でしのいでいる業者も多いとの声が聞かれた。
- 個人消費は、5月の販売額は、ドラッグストア、コンビニで前年同月比で上昇し、全体で同1.1%上昇となった。ヒアリングでは、生鮮食品スーパー、特に青果部門の売上が好調との声が聞かれた一方で、居酒屋店舗でディナータイムの客数がコロナ禍前と比較して戻っていないとの声が聞かれた。
- 観光は、インバウンド客の増加等により、宿泊者数は前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、コロナ前の約9割まで戻ってきている。なお、主要宿泊施設のインバウンドはコロナ前よりも2割増と大幅に増えている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、5月の制度融資実績は、金額で16ヶ月連続増加となった。機械の老朽化に伴う更新や、生産増強等の用途による設備資金の利用が見られたとの声や、伴走支援型特別保証制度について、4～6月も駆け込みといわれるほどの需要はなかったとの声が聞かれた。
- 雇用面は、5月の有効求人倍率は1.57倍と32ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、最低限の人材確保はできているが人手不足の解消には至っていないとの声や将来の自動化・省人化に向け、システム構築できる人材が欲しいとの声が聞かれた。また、リスキングの促進のため、資格取得に対する費用負担をしているとの声や、4月の通常昇給と合わせて、賃上げを実施したとの声が聞かれた。